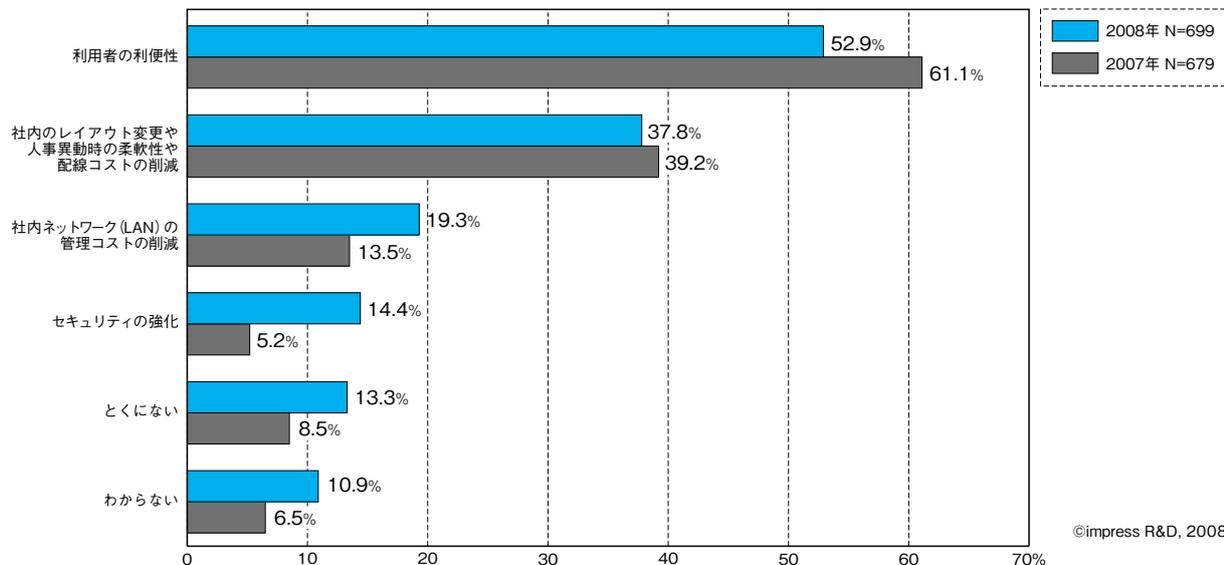


LAN/利用機器

■ 無線LAN導入による実際の効果は、期待効果よりも低下

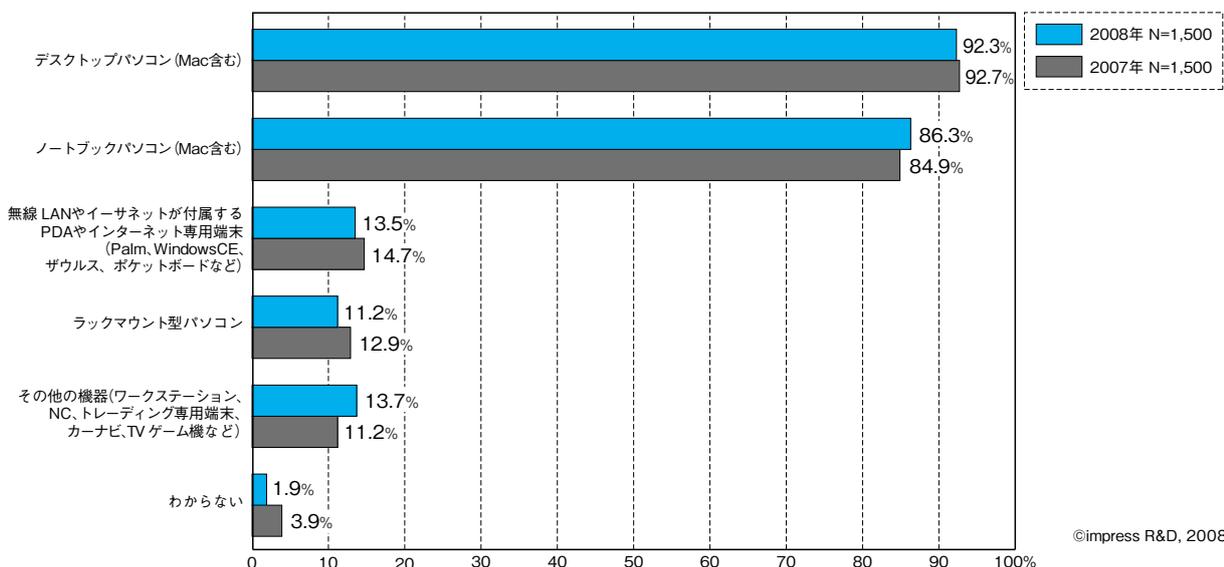
資料 7-5-8 無線LAN利用時の実際の効果(複数回答) [2007年-2008年]



無線LAN導入企業が実際に感じている効果では、「利用者の利便性」が52.9%で最も高く、「社内のレイアウト変更や人事異動時の柔軟性や配線コストの削減」が37.8%、「社内ネットワーク(LAN)の管理コストの削減」が19.3%で続いている。導入時に期待していた効果を比較すると、全体的に比率は低下している。

■ インターネット利用機器はパソコンが突出

資料 7-5-9 インターネット利用可能な機器(複数回答) [2007年-2008年]



インターネット利用可能な機器をみると、「デスクトップパソコン(Mac含む)」が92.3%、「ノートブックパソコン(Mac含む)」が86.3%とパソコンが突出しており、その他の機器の利用は1割強にとどまっている。また、昨年の調査と比較してもほとんど変化はみられない。

利用機器

■ 大企業ほどパソコン以外の機器の利用率も高まる

資料7-5-10 インターネット利用可能な機器(複数回答) [従業員規模別]

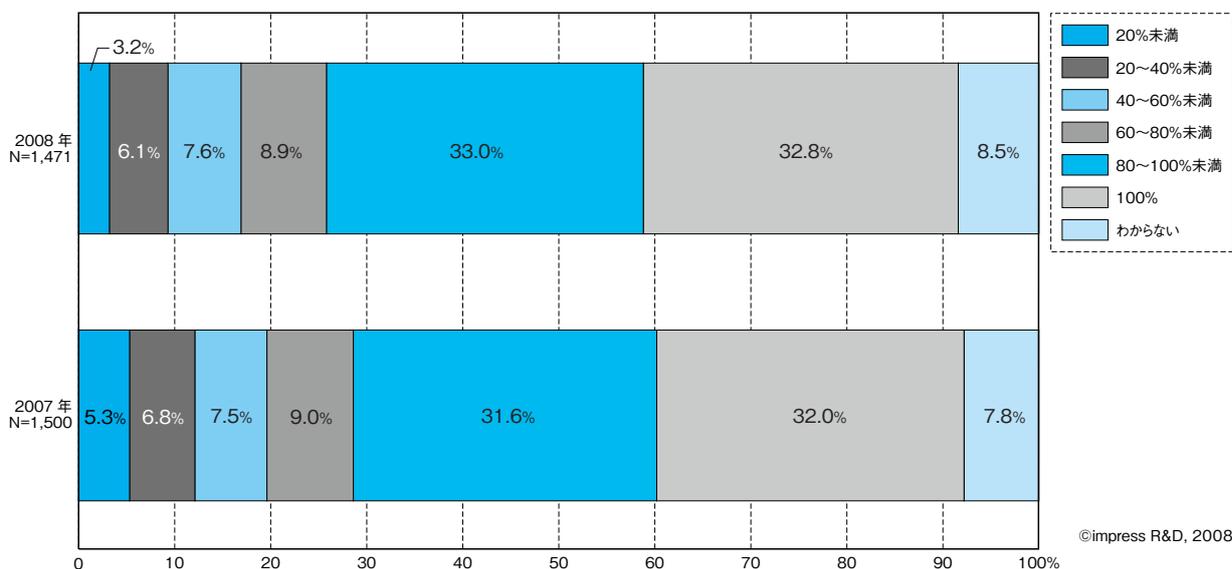
	全体 N=1,500	1~9人 N=151	10~49人 N=304	50~99人 N=144	100~299人 N=227	300~999人 N=215	1,000~4,999人 N=230	5,000人以上 N=229
デスクトップパソコン (Mac含む)	92.3%	88.7%	97.0%	91.0%	93.0%	93.5%	91.3%	88.6%
ノートブックパソコン (Mac含む)	86.3%	73.5%	82.6%	84.0%	89.4%	90.2%	91.3%	89.5%
ラックマウント型パソコン	11.2%	0.7%	3.6%	9.7%	11.5%	14.0%	12.6%	24.9%
無線LANやイーサネットが付属するPDAやインターネット専用端末 (Palm、WindowsCE、ザウルス、ポケットボードなど)	13.5%	9.9%	6.9%	12.5%	8.8%	17.7%	16.5%	22.7%
その他の機器 (ワークステーション、NC、トレーディング専用端末、カーナビ、TVゲーム機など)	13.7%	11.9%	8.2%	10.4%	11.0%	13.0%	14.3%	27.1%
わからない	1.9%	0.0%	1.6%	2.8%	1.8%	1.9%	2.6%	2.6%

©impress R&D, 2008

インターネット利用可能な機器を従業員規模別にみると、デスクトップパソコンやノートブックパソコンはどの規模でも8~9割と大きな差はない。一方で、「ラックマウント型パソコン」や「無線LANやイーサネットが付属するPDAやインターネット専用端末」「その他の機器」は、大企業ほど利用率が高い傾向がみられる。

■ インターネット利用可能なハードウェア比率は8割以上が3分の2

資料7-5-11 インターネット利用可能なハードウェア比率[2007年-2008年]



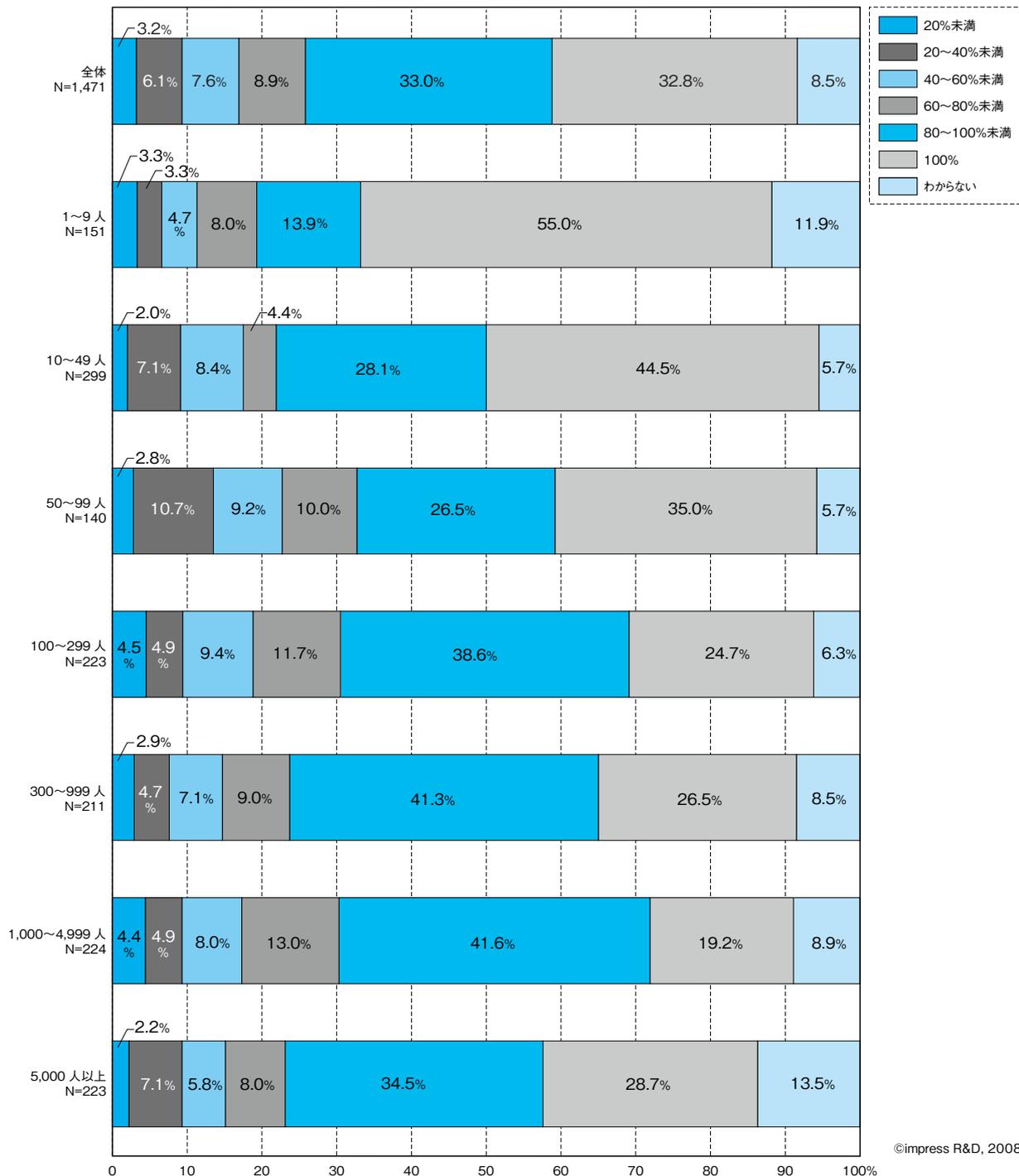
©impress R&D, 2008

企業内における機器のうち、インターネット利用可能なハードウェアの比率をみると、「80~100%未済」が33.0%で最も高く、「100%」が僅差の32.8%で続いている。昨年の調査と比較すると、40%未満といった低率の比率が減少し、80%以上の比率が増加している。

利用機器

■ ネット利用可能なハードウェア比率100%は小規模企業ほど高い

資料 7-5-12 インターネット利用可能なハードウェア比率[従業員規模別]



©impress R&D, 2008

インターネット利用可能なハードウェアの比率を従業員規模別にみると、80%以上の比率はどの規模の企業においても7~8割で大きく変わらない。ただし、「100%」の比率は小規模な企業ほど高い傾向がみられ、1~9人の企業では55.0%を占めている。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp